

2022年7月27日(水)第四水曜祈祷会

ヨハネの福音書7:25～36

「中途半端の悲劇」

【背景】(7章1～24節) \*ユダヤ人の三大祭りの一つ、『仮庵の祭り』が行われていた。

- ①仮庵の祭りも後半になる頃、イエスは宮に現れ、人々に向かって教え始められた(14節)。
- ②ユダヤの指導者たちは、イエスの旧約聖書に対する精通ぶりに度肝を抜かれた(15節)。
- ③ユダヤ人たちはイエスが安息日に病人を癒したこと(5:2～9)に腹を立てていた(21節～)。

【観察と黙想】

### 1. エルサレムの住民たちの疑問(7章25～27節)

- ①住民たちはイエスさまに対して議員たちが何も言わないことにどんな疑問を抱きましたか。  
→
- ②住民たちはメシアに対してどのような考えを持っていましたか(ダニエル7:13、マラキ3:1)。  
→
- ③一方で、住民たちはイエスさまに対してどのような思いを持っていましたか。  
→

### 2. イエスさまの宣言と人々の反応(28～31節)

- ①イエスさまは大声で人々になんと宣言されましたか(2つ)。  
→
- ②イエスさまの宣言を聞いた人々はどんな反応に分かれましたか。  
→
- ③イエスさまを捕らえようとした人々はどのようにして失敗に終わったのですか。  
→

### 3. パリサイ人たちへの最後通告(32～36節)

- ①祭司長やパリサイ人たちはどのようにして下役たち(役人たち)を遣わしたのですか。  
→
- ②イエスはパリサイ人たちになんと宣言されましたか(2つ)。  
→
- ③ユダヤ人たちはイエスの宣言を聞いてどう思いましたか。  
→

【適用と分かち合い】

- ①エルサレムの住民たちはどうしてイエスさまのことばを悟れなかったのですか。
- ②今日でも、イエスさまのことばを聞いた人々の反応が分かれるのはなぜですか。
- ③イエスさまの「もう少しの間」ということばは、私たちに何を示していますか(イザヤ55:6)。